

論点整理について

【前回会議を踏まえた論点】

1. 行政サービスの中で、高齢者の就労になじむ事務や作業を
どのような視点から切り出すのか？

※第13回会議（今回）で議論

2. 高齢者の就労促進に繋がる情報提供・募集方法や、就労意欲
を高める仕組みづくりとして市ができることは？

※第14回会議（次回）以後で検討

関係団体との協働、就労促進のためのプラットフォームのあり方、就労の動機付けに繋がる制度づくりなどを含めて検討

【検討】

○前提－高齢者の強みや特性－※1

- ・社会経験が豊かで、豊富な知識を持っている
- ・社会常識を持ち、広い視野で対応ができる
- ・経験で培ったノウハウ・技術等を持っている
- ・短時間勤務など多様な働き方が可能である など

○今回取り上げる行政業務の事例

- ・生活保護関連業務 資料4
- ・学校環境維持管理業務
(学校用務員) 資料5

*資料2「65歳以上の非常勤職員の業務への従事状況」から、職員数が多い業務を取り上げて検討

【参考】高齢者の就労に対する意識 ※2

- ◆ 高齢者が仕事を選ぶ際に重視すること
 - ・体力的に無理なく続けられる
 - ・自分のペースで進められる
 - ・勤務日や勤務時間が選べる
 - ・自分の能力を発揮できる
 - ・経験したことのある職種である など
- ◆ 高齢者が働く理由
 - ・経済上の理由
自分と家族の生活を維持するため
生活水準を上げるためなど
 - ・生きがい、社会参加のため
 - ・健康に良いから など

〈参考文献〉※1 東京商工会議所「高齢社員活躍ハンドブック」、※2 厚生労働白書（平成28年度）

【切り出しの視点】

高齢者の強みや特性、
行政業務の事例検討を
踏まえて、事務や作業の
切り出しの視点を整理

高齢者の就労になじむ
事務や作業の切り出し
(横展開)

行政サービスの担い手
としての高齢者の活躍